

# 防災を考える。

～ vol. 3 ～

東日本大震災から3年を経過した今、あらためて防災について考えてみましょう。

## 家族防災会議を開こう！

いざというときに慌てずに適切な行動をとるためには、災害が起こる前からの準備が必要です。日頃から災害への備えや災害時の行動について家族で話し合っておきましょう。話し合った内容は、4月に配布した『小野町 防災ガイドブック』の裏表紙にある「わが家の防災メモ」に記入しておきましょう。

## 避難経路を想定しよう！

災害時に安全を確保するための避難先として、自宅や勤務先の近くにある避難所の場合と、そこまでの経路を確認しておきましょう。火災や建物の倒壊・浸水などによって、避難所までの経路が利用できなくなる場合もあります。どの地域が安全で、どの地域が危険なのかを把握し、いくつかの避難経路を想定しておきましょう。

## 災害に備える

### ◎日頃からの備え

災害が起こったときに、まず守るべきなのは自分自身です。自分が無事でなくては誰かを助けに行くこともできません。自分の手で自分の家族の安全を守るための「自助」の取り組みから始めましょう。

## わが家の安全対策をしよう！

台風など風水害への備えは大丈夫ですか？

### 【屋根】

瓦、トタンのはがれなどのチェック。アンテナの補強。

### 【窓】

ひび割れ、窓枠、雨戸のガタつきのチェック。

### 【外壁】

壁・ブロック塀の亀裂のチェック。プロパンガスもしっかり固定。

### 【ベランダ】

竿・植木鉢などは、飛ばされないよう屋内へ。

### 【雨どい】

枯れ葉や砂が詰まっているかのチェック。

地震への備えは大丈夫ですか？

・家具などを転倒防止金具などで固定し、倒れにくくする。

・サイドボード・食器戸棚・窓などのガラスが飛散し

ないようにする。

・本棚や茶ダンスなどは、重いものを下の方に収納し、重心を低くする。  
・棚やダンスなどの高いところに危険なものを載せない。

・食器棚などに収納されているガラス製品（ビン類など）が転倒したり、すべり出さないようにする。  
・建物の耐震診断をし、必要に応じて耐震改修をする。

・火災に備え、消火器の備えをする。

## ◎家庭での備蓄のポイント

### 食糧の備蓄

・レトルト、フリーズドライ、缶詰のご飯など便利な食品

・特にご飯の用意は大事  
・乳幼児の粉ミルク、離乳食、おやつは十分に

・食料品は最低3日以上を

### 水の備蓄

・1人1日3リットルが目安  
・生活用水も十分に確保を  
・ポリタンクでのストック

が便利

・時々水の取り替えを

### 燃料の備蓄

・便利な卓上カセットコンロや固形燃料を

・カセットボンベの予備も

### 照明・情報の備蓄

・懐中電灯は家族1人1個を

・予備の電池のストックを十分に

・正しい情報入手のために、ラジオ(機能)の確保を

## ◎非常用持出袋について

4月に配布した非常用持出袋は、避難をする際に必要となるものが入っています。事前に中身を確認して、おのの世帯の状況により補充するなど管理をしてください。

